

支部だより

島根支部

支部長 清水泉州

第三十回記念公募展を終えて

謹啓 盛夏の候諸先生方におかれましては益々清栄の事とお喜び申し上げます。さて、島根支部は昨年三十回記念展を節目に新たな前進を誓った矢先に中尾会長の訃報でした。三十年間の歲月の中で何度となく会の存続危機に合いましたが、その紆余曲折の中で中尾会長には適切な助言を頂戴しましたお陰で心強く進めてきました。心より感謝申し上げます。

振り返えすれば、民・官から自然発生した山陰唯一の総合美術「創る人、観る人」相互が潤い希望や勇気を育む公募展を目標として「第三十回記念公募島根支部展」を有意義に開催。「継続は力なり」を合言葉に試行錯誤しながらも役割を果たしてきましたが、世情の変遷を経る中で会員の動向、高齢化等が進みました。本年平成二十七年四月二十六日支部総会に於いて、今後の方針を話し合った結果、この三十回の節目を機に会員独自の研鑽を重視し親睦を大切に新たな展望を誓い会員



広島支部の近況

支部長 前原専一

広島支部は一九八五年に設立し今年でちょうど三十周年になる。当初は本部と支部会員で二十名以上いたが今では本部会員の

みの七名になりましたが、毎年二回の支部展と個々の会員が個展やグループ展を開催している。

今年の初回は、府中市内の備後芸術の館「来夢来人」で、六月二十二日～六月二十八日、油彩、水彩、工芸二十六点を展示し盛会で幕を閉じた。今回の支部展では油彩、水彩、工芸とジャンルは違っても、荒川正江さんの布に描いた二百号サイズの龍の



墨絵や藤原清二さんの水墨デッサンの裸婦や、石川重利さんの肥松の内部を切り抜き抽象絵画のような木目を浮き出させた「松造花器」など、新しい

表現を追求した作品が目についた。次回の支部展は福山市「HOLM230」で九月六日～十二日に開催する。

以前は福山美術館やデパートの画廊を使っていたが、利用者が多く抽選で難しく、入場者数の減少と駐車場がないため会場を変更した。

我々の広島支部は広島県の東部に在り広島備後地方の明媚な風光や四季を通じて温暖な気候は、そこに住む人々の心を和ませ幸せを感じさせる。そうした風土に生きる文化はやはり明るく誇りのない甘美の世界である。一般に厳しい自然で抑圧や忍従を強いられるような風土に生きる者は、それに抵抗しはねのけるような逞しく力強い文化を生む。この力強いものを求めるためには、美しい風土につつまれて安易に順応するだけでなく生活をよく見詰め生活に役立つ何らかの希求を持つようにする事ではなからうか。

油彩、水墨、工芸とジャンルは違っても共通して大切なことは、何に対しても常に新鮮なまなざしを向けることのできる真摯な心を大切に持ち続けることだと思ふ。

選抜小品展を終えて

事業部・日本画委員・児玉八千穂

五月二十四日～三十日、東京有楽町の交通会館にて「選抜小品展」を行いました。昨年までは新日美展の直前の九月で厳しい日程だったため、今年から五月に変更しての再スタートとなりました。

ただ、今回は二日目の二十五日の昼間と、搬出日の夜に割と大きい地震があり、特に二十五日の地震は陶芸作品が無事なのか焦りました。当番の方にお聞きしたところ、ギャラリーは地下だったので殆ど揺れなかったとのこと。安堵しました。陶芸作品はスペースに余裕をもつて展示してあるので、余程の大地震でない限り転げ落ちるようなことは無いと解つてはいましたが、やはり心配なものですね。私のような絵画の人間にとつては初めての経験でした。

また、今回は昨年の新日美展受賞者の一般・会友・会員の区別無く、この方達の活躍の場と位置付け、それに支部長・委員推薦の有望な方を加えさせて頂きました。お陰さまで昨年の参加者三十八名を大きく上回る四十五名で、新しい参加者が多かったのもとても新鮮でした。

来年以降そのような募集通知が届いた際は、奮つてご参加下さい。視野を広げることや自分の可能性を再発見するためにも、一つのギャラリーの中で同じサイズの様々な作品と競い合うことはとても大切であり、また、このギャラリーでの発信が、参加した方々の更なる活躍への一助となることを願っています。



ことや自分の可能性を再発見するためにも、一つのギャラリーの中で同じサイズの様々な作品と競い合うことはとても大切であり、また、このギャラリーでの発信が、参加した方々の更なる活躍への一助となることを願っています。

スケッチ会の実施報告と次回予定

事業部 一柳 幸

2015-5-13(水)雑司ヶ谷鬼子母神

昨夜台風があったとは思えない良い日和になりスケッチには最高の一日だった。雑司ヶ谷鬼子母神の境内は、櫻、杉、銀杏、等巨木が多く若葉、新緑ともどもと画家の心をひきつける姿を見せていた。

落ち着いた雰囲気のある境内に建つ本堂は、立派なただずまい年らどことなく柔らかなさを含んでいるように思えるのは何故だろう。ご本尊が女性だからそんな感じがするのかもしれない。

ここの名物に「すすきみみずく」という土産物がある。以前からほしかったので一つ買い求めてしまった。天気晴朗、快適な一日でした。

2015-6-10(水) 神田明神

神田明神でのスケッチとなると思い出すのは「広重」の描いた神田明神である。彼の

絵には社殿は一切描かれていない。境内東側を見る眺の風景である。つまり「明神下」の風景の手前に神主と巫女を配した日の出の絵である。しかし太陽は樹に隠されている。私もこれを真似して「銭形平次」の碑の側から現在の「明神下」の方向を狙ってみたがビルだらけ。失敗だった。とても「広重」の足元には及ばない。ここは本殿をしっかりと描くべきだろう。反省した次第。

次回予定

当日朝7時の天気予報で降水確率50%を超える場合中止します。

○2015-7-8(水) (夜景)銀座通り

銀座和光前 17時集合 20時筆を置く場合によっては暑気払いなどいかが？

○2015-8-12(水) (夜景)東京駅

東京駅南口中郵便前 17時集合

明るいニュース

各支部の状況を原稿にお願いしてきましたが、共通していることはどの支部も高齢化と会員の減少に苦心していることが分かります。年齢人口の割合から言っても高齢者が多く、若い世代は生業に専念しなければならぬので、美術団体に所属して活動する余裕がとれないのが実情と考えられます。そうした状況下、新しく「栃木支部」が設立され活動を開始しました。

新日美栃木支部

設立:平成27年6月14日

支部長:増野 喬

発起人:増野 喬、土屋政夫

支部員:8名

活動拠点:栃木県宇都宮・那須

第一回支部展:平成28年3月7日～

11日、宇都宮市、栃木県立総合文化センター